



神戸新聞に掲載

11月からケアハウスでは、シトラスリボンプロジェクト（新型コロナウイルスの感染者や医療従事者への差別や偏見をなくす取組み）が始まりました。数回実施した後に神戸新聞からの取材を受け、11月30日の朝刊に掲載されました。紐の素材選びや色の選定など試行錯誤しながら、ようやく形が見えてきて、回を重ねるごとに参加されるご入居者も増えました。紐の結び方を完璧にマスターされた方は、初めて参加される方へレクチャーされるなど、

和やかな雰囲気の中でリボン作りを行っています。これからも、月に1回の頻度でシトラスリボン作りを継続していきま



思いやり訴えるリボン

たとえ感染が確認されても受け入れられる雰囲気をつくり、安心して暮らせるまちを目指そうと、愛媛県味、玄関に展示したり、

「元気ですか」などの声掛けとともに贈り合ったりしているという。

(第3種郵便物認可)

者が取り組んでいる。感染のリスクにさらされる中、互いに思いやる大切さをいま一度見つめてほしい。そんな願いとともに一つ一つのリボンを結ぶ。

(長沢伸一)

コロナ感染者らへの風評被害根絶を



シトラスリボン作りを楽しむ入居者＝明石市大久保町大窪（三幸福社会提供）

玄関ロビーなどに掲示

同施設では今後も定期的にリボン作りを続けていくという。

PHOTO



行事の予定

- 健康教室(食堂 14時15分～)
4日(月)、6日(水)片山PT、12日(火)、16日(土)、23日(土)、26日(火)、29日(金)
- 午後の喫茶(B1 14時30分～)
24日(日)
- 歌の会♪(食堂 14時15分～)
9日(土)、17日(日)、31日(日)
- 華倶楽部(食堂 14時15分～)
3日(日)、19日(火)、27日(水)
- シトラスリボン作り(B1 14時15分～)
8日(金)

編集後記

今年は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、社会が一変するような激動の1年でした。

緊急事態宣言の発令、外出や営業自粛要請など普段の暮らしにも大きな変化が訪れ、「3密回避」「ソーシャルディスタンス」「ステイホーム」など新しい言葉も生まれました。

当ケアハウスにおいても、起床時の検温の依頼、買い物参加回数制限、外出される場合の行き先確認、不要不急の外出自粛の依頼、館内における家族様との面会禁止、イベント時のマスク着用、手指消毒の徹底、食堂入り口の検温パネルの設置など様々な感染防止対策を図る事となりました。

様々な制限や新しい生活様式の中で、「入居者の皆様には、たくさんのストレスを抱えになったことだと思っています。これからも気が抜けない日々が続きますが、コロナ禍でも皆様の日常をしっかりと守り、笑顔で毎日を過ごす事ができるように職員としての責務を果たしていきたいと思っています。

令和3年も宜しくお願い申し上げます。どうぞ良いお年をお迎え下さい。

生活相談員 村上卓也

